

令和8年6月湖南省議会定例会 賛否が分かれた案件一覧

○：賛成 ●：反対

議案番号	件名	会派 Kiku				自由民主党 湖南省議会団		市民とく つなぐ ネット		湖南省 公明党 議員団		こなん の未来		湖南 維新の会		無会派	無会派	無会派
		永田 誠治	森 淳	松原 栄樹	田中 雄二郎	小林 義典	上野 顕介	曾我部 一帆	坂田 政富	寺元 正幸	副田 悦子	奥村 幹郎	堀田 繁樹	澤田 厚	東良 一成	松井 圭子	藤川 みゆき	東森 徹平
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (専決第3号湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条 例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
請願第2号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求 める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●
請願第3号	「国家機密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」(スパイ 防止法案)の制定を阻止することを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●

※議長は採決に加わりません。

本会議での議案の討論

●請願第2号

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願

●請願第3号

「国家機密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」(スパイ防止法案)

の制定を阻止することを求める請願

●請願第2号

東森 徹平議員

反対

本請願の趣旨に理解を示しつつも、公平性・専門職体制・財政負担・科学的根拠の観点から、国による統一的な制度整備を求めるなど、持続可能で公平な仕組みを目指すべき問題であると申し上げ、本請願に反対いたします。

藤川 みゆき議員

賛成

加齢性難聴は高齢者の社会参加や健康に大きく影響します。補聴器購入費の助成は孤立や認知症予防、介護予防につながる有効な支援で県内でも導入自治体が広がっており、本市でも前向きに検討すべきと考え、賛成します。

永田 誠治議員

反対

身体障害者手帳の交付対象となる高度の難聴の方の補聴器購入は障害者総合支援法による補装具として公費負担の制度があります。よって加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的、補助制度の創設を求める、請願第2号は反対します。

松井 けい子議員

賛成

必要な人への支援こそ実質的な公平性です。健康寿命延伸に繋がれば財源は生み出せます。補聴器購入費補助制度は、日常生活や社会参加に支障を抱えている高齢者やご家族の切実な願いであり応えるべきと賛成しました。

小林 義典議員

反対

加齢に伴い、聴力低下で日常生活や社会参加に不便を感じておられる高齢者がおられることは十分理解しています。その上で、第1に公平性の観点、第2に購入すれば終わりではない点、第3に財政負担と、制度設計に問題があり反対します。

寺元 正幸議員

賛成

補聴器は難聴の高齢者にとっては贅沢品でなく必需品です。長年にわたり納税者として社会に貢献してこられた高齢者の税の再分配策としても、また健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながる公的補助の請願に対し、賛成します。

田中 雄二郎議員

反対

各自治体の独自施策により足並みが揃っておらず公平性に欠けている。この問題だけにとどまらず超高齢化社会への取り組みは国がしっかりと施策を示し、高齢者に対して公平な支援を行うものであると考え、反対します。

坂田 政富議員

賛成

難聴者の現状は、65才から69才男性43.7%、女性27.7%で、補聴器は若い程、短期間で使えるようになっていわれていますが、40万円を越す高額品です。多くの自治体で実施している購入に対する補助制度を求め、賛成します。

●請願第3号

松井 けい子議員

賛成

安全保障の重要性を認めつつ、国民の知る権利や報道の自由、プライバシー権など基本的人権に影響を及ぼす可能性があるので危険。現行制度の運用を検証すべきである。安全保障と人権保障の両立という観点から賛成。

藤川 みゆき議員

反対

本請願は、法案の内容を議論する前に制定そのものを阻止することを求めています。安全保障上の課題には法制度の検討が必要であり、人権に十分配慮しつつ国で慎重に議論すべきであることから、本請願には反対します。

寺元 正幸議員

賛成

新たなスパイ法案は、国民が一般的に情報収集する活動が監視され、国民同士が監視しあう社会が醸成され、基本的人権が脅かされる恐れがあります。よってスパイ防止法案阻止の請願に賛成します。

東森 徹平議員

反対

現在は外国勢力の諜報活動を包括的に取り締まる一般法が不在であり、不当な干渉・世論工作・技術流出を未然に防ぐ枠組みを整備する本案は、国民の利益や財産を守ることが目的であることから本請願に反対いたします。

坂田 政富議員

賛成

政治が右傾化する中、41年前に国民の反対で廃案になった「スパイ防止法案」が装いを新たに提出の準備へ。今なら間に合います。自由と平和を求める声を大きくすれば憲法改悪、戦争準備を止めることができるため、賛成します。

曾我部 一帆議員

反対

いわゆるスパイ防止法案の内容や論点について現時点で慎重審議の前段階にあり、具体的な条文が示されていない段階から法の制定そのものを阻止するよう求めることは、地方議会が国に提出する意見書として適切でないため反対します。